

熊本市食の安全安心・食育推進計画 施策の方向性と成果指標 評価シート

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践
1) 家庭における食育の推進

《成果指標》

項目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
① 食事のとき「楽しい」と感じる市民の割合	73.7%	78.2	80%
② 1週間あたりの朝食の欠食率	小学5年生 1.2% 中学2年生 2.9% 20歳代男性 30.5% 30歳代男性 21.9%	※ 0.9 2.0 29.4 29.4	0% 0% 15% 15%
③ 食育に関する活動や行動をしている市民の割合	男性 21.2% 女性 35.0%	18.5% 32.3%	25% 45%
④ 「内臓脂肪症候群」を認知している市民の割合	20歳以上 76.6%	82.1%	85.0%
⑤ 肥満度20%以上の児童の割合	小学生 7.5% 中学生 9.1%	6.8% 7.7%	7.0% 7.5%

※※平成23年度調査

《準じる指標》

朝食の品数として「3品以上」食へる市民の割合	45.6%	42.2%	55.0%	-
食卓で健康や食に関する会話をしている市民の割合	74.2%	68.7%	80.0%	-
おいしい水のある食生活を楽しむ市民の割合	68.5%		75.0%	
1週間4.5日以上家族と一緒に食事をする市民の割合	78.0%	81.4%	85.0%	+
家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)	男子 50.0% 女子 69.7%	50% 76.3%	65% 80%	- +
自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)	男子 39.5% 女子 82.8%	32.8% 79.5%	50% 85%	- -
運動習慣のある市民の割合(15歳以上)	26.6%	38.2%	50.0%	-
野菜を1日に2回以上食へる市民の割合(緑黄色野菜・その他の野菜)(15歳以上)	24.5% 30.6%	22.3% 25.8%	40% 45%	- -
適正体重を認識した体重調整を心がけている市民の割合	63.9%	64.8%	75.0%	+
規則正しい食生活を必ずしている市民の割合	63.8%	63.5%	70.0%	-

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践
2) 学校・保育所等における食育の推進

《成果指標》

③ 保育所における食育に関する計画の策定割合	公立 40% 私立 16.7%	H23 100% 91%	100% 100%	+
⑦ 幼稚園における食育に関する計画の策定割合	公立 0% 私立	100% 80%	100% 80%	達成 達成
⑧ 小・中学校における食育に関する計画の策定割合	小学校 100% 中学校 100%	100% 100%	100% 100%	達成 達成

策定はほぼ100%を達成しているかどうか？

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践
3) 家庭・学校・地域等が連携した食育の推進

《成果指標》

⑨ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合		22.6%	19.3%	35%	-
《準じる指標》					
学校・保育所等において栄養や食事・食品関連情報を得る市民の割合	公立 10.5% 私立	14.9%	20.0%	20.0%	+
保育所や幼稚園、学校、地域からの食に関する情報を活用する市民の割合(14歳以下の子どもの保護者)		50.7%	48.3%	65.0%	-

II 健全な食生活を実践するための環境整備
1) 日本型食生活の実践に向けた情報の発信

《成果指標》

⑩ 食事バランスガイドを参考にしている市民の割合		27.1%	29.1%	40%	+
⑪ 日本型食生活を実践している市民の割合		81.5%	80.6%	85%	-
⑫ 食育に関する活動や行動をしている市民の割合		29.3%	26.2%	40%	-
《準じる指標》					
食事バランスガイドを見たことがある市民の割合	経験	15歳以上 56.4%	62.0%	70.0%	+
栄養成分表示を参考にしている市民の割合	行動	15歳以上 71.1%	68.9%	80.0%	-
水を通じた健康づくりを楽しむ市民の割合	行動?	48.3%		60.0%	
保健所・保健センターなどの公的機関で栄養や食事・食品関連情報を得る市民の割合		15歳以上 5.8%	5.5%	10.0%	-

2次計画 成果指標(案)

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践
1) 家庭における食育の推進

《成果指標》

① 食育に関心がある市民の割合				行動
② 「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数の増加」				行動
③ 1週間あたりの朝食の欠食率(1歳～5歳、小5、中2、20代男性、30代男性、65歳以上)				行動
④ 「内臓脂肪症候群」を認知している市民の割合				行動
⑤ 肥満度20%以上の児童の割合				行動
⑥ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑦ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑧ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
⑨ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑩ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑪ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
⑫ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑬ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑭ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
⑮ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑯ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑰ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
⑱ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑲ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
⑳ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㉑ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉒ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉓ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㉔ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉕ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉖ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㉗ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉘ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉙ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㉚ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉛ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉜ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㉝ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉞ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㉟ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㊱ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊲ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊳ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㊴ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊵ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊶ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㊷ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊸ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊹ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㊺ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊻ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊼ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動
㊽ 家庭で料理を作ったり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊾ 自ら料理に取組んだり、その手伝いをする子どもの割合(男女)				行動
㊿ 親子料理教室等健康づくり活動へ参加したことがある市民の割合				行動

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践
2) 学校・保育所等における食育の推進

《成果指標》

④ 保育所、幼稚園、小・中学校で保護者に対する普及啓発の実施率				行動
⑤ 職域、大学等での食育講座の開催				開催回数
《準じる指標》				
学校・保育所等において栄養や食事・食品関連情報を得る市民の割合				行動
保育所や幼稚園、学校、地域からの食に関する情報を活用する市民の割合(14歳以下の子どもの保護者)				行動

何を持って評価するか？

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践
3) 職場等における食育の推進

《成果指標》

⑥ 食事バランスガイドを見たことがある市民の割合				行動
⑦ 栄養成分表示を参考にしている市民の割合				行動
⑧ 水を通じた健康づくりを楽しむ市民の割合				行動
⑨ 保健所・保健センターなどの公的機関で栄養や食事・食品関連情報を得る市民の割合				行動
⑩ 食事バランスガイドを見たことがある市民の割合				行動
⑪ 栄養成分表示を参考にしている市民の割合				行動
⑫ 水を通じた健康づくりを楽しむ市民の割合				行動
⑬ 保健所・保健センターなどの公的機関で栄養や食事・食品関連情報を得る市民の割合				行動

II 健全な食生活を実践するための環境整備
1) 日本型食生活の実践に向けた情報の発信

《成果指標》

⑩ 食事バランスガイドを参考にしている市民の割合				行動
⑪ 日本型食生活を実践している市民の割合				行動
⑫ 食育に関する活動や行動をしている市民の割合				行動
《準じる指標》				
食事バランスガイドを見たことがある市民の割合				行動
栄養成分表示を参考にしている市民の割合				行動
水を通じた健康づくりを楽しむ市民の割合				行動
保健所・保健センターなどの公的機関で栄養や食事・食品関連情報を得る市民の割合				行動

II 健全な食生活を実践するための環境整備
2) 食生活改善をサポートする人材の育成

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑧ 食育推進に関するボランティア数	560人	1,208人	+

II 健全な食生活を実践するための環境整備
3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑩ 飲食店で栄養成分表示を見たことがある市民の割合	56.3%	54.0%	65%
スーパーマーケット・コンビニエンスストア等における食事バランスガイドの認知度	7.5%	18.9%	30.0%
飲食店・食料品店等において栄養や食事・食品関連情報を得る市民の割合	7.1%	9.2%	15.0%

III 市民運動としての食育の推進
1) 市民協働によるくまもと食育市民運動の展開

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑪ 食育に関心がある市民の割合	76.0%	73.2%	90%
⑫ 食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合	58.0%	52.9%	65%
⑬ 食育の認知度	42.7%	47.8%	55.0%

III 市民運動としての食育の推進
2) 食育支援団体のネットワーク整備

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進
1) 生産者と消費者の交流

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑭ 生産者と消費者が近く交流しやすいと感じている市民の割合	24.5%	24.1%	30%
⑮ 学校農園や休耕田等を活用した栽培活動を実施している小・中学校の割合	98%	100.0%	100%
⑯ 田植え等のイベントに参加したことがある市民の割合	39.1%	37.7%	50.0%

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進
2) 地産地消の促進

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑰ 「地産地消」を認知している市民の割合	57.9%	70.4%	65%
⑱ 学校給食における地元産物を使用する割合	28品目	39品目	43品目
⑲ 「くまもとらしさ」を感じることとして、農産物がおいしいこととする市民の割合	74.0%	78.0%	80.0%
⑳ 進んで地元農産物を購入する市民の割合(15歳以上)	9.8%	15.3%	20.0%

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進
3) くまもとの食文化の伝承

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
㉑ 家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	65.9%	49.2%	70%
㉒ 次世代に郷土料理や伝統料理、食文化などについて伝えたいと思っている高齢者の割合	69.7%	80.5%	85.0%

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進
4) 食育を通じた環境保全

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
㉓ 市民1人1日当たりのごみ排出量	1,215g	956g	達成
㉔ 「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	67.0%	70.3%	75%
㉕ バイオマスを知っている市民の割合	25.0%	34.3%	30%
㉖ 熊本市の良質な水がおいしいの基になっていると思う市民の割合	65.7%	80.9%	85.0%

II 健全な食生活を実践するための環境整備
2) 食生活改善をサポートする人材の育成

⑧ 食育推進に関するボランティア数	
-------------------	--

《成果指標》

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑩ 飲食店で栄養成分表示を見たことがある市民の割合	56.3%	54.0%	65%
スーパーマーケット・コンビニエンスストア等における食事バランスガイドの認知度	7.5%	18.9%	30.0%
飲食店・食料品店等において栄養や食事・食品関連情報を得る市民の割合	7.1%	9.2%	15.0%

《成果指標》

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑪ 食育に関心がある市民の割合	76.0%	73.2%	90%
⑫ 食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合	58.0%	52.9%	65%
⑬ 食育の認知度	42.7%	47.8%	55.0%

III 市民運動としての食育の推進
2) 食育支援団体のネットワーク整備

《成果指標》

⑭ ネットワークへの参加者(団体)数 or 連携で実施した活動数	
----------------------------------	--

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進
1) 生産者と消費者の交流

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑭ 生産者と消費者が近く交流しやすいと感じている市民の割合	24.5%	24.1%	30%
⑮ 学校農園や休耕田等を活用した栽培活動を実施している小・中学校の割合	98%	100.0%	100%
⑯ 田植え等のイベントに参加したことがある市民の割合	39.1%	37.7%	50.0%

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進
2) 地産地消の促進

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
⑰ 「地産地消」を認知している市民の割合	57.9%	70.4%	65%
⑱ 学校給食における地元産物を使用する割合	28品目	39品目	43品目
⑲ 「くまもとらしさ」を感じることとして、農産物がおいしいこととする市民の割合	74.0%	78.0%	80.0%
⑳ 進んで地元農産物を購入する市民の割合(15歳以上)	9.8%	15.3%	20.0%

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進
3) くまもとの食文化の伝承

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
㉑ 家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	65.9%	49.2%	70%
㉒ 次世代に郷土料理や伝統料理、食文化などについて伝えたいと思っている高齢者の割合	69.7%	80.5%	85.0%

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進
4) 食育を通じた環境保全

項 目	H19(前近年)	24年 アンケート	目標
㉓ 市民1人1日当たりのごみ排出量	1,215g	956g	達成
㉔ 「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	67.0%	70.3%	75%
㉕ バイオマスを知っている市民の割合	25.0%	34.3%	30%
㉖ 熊本市の良質な水がおいしいの基になっていると思う市民の割合	65.7%	80.9%	85.0%